

関係－最高の贈り物 Relationship: The Best Gift

ハイスクール1年生だったある日、私は、同じクラスのカイルが、学校から家に歩いて帰るのを見かけました。

カイルはまるで、教科書を全部背負っているように見えました。「なんで金曜日に教科書をまとめて家に持って帰るんだらう。きっとガリ勉なんだらうな。」と私は思いました。

友達とのパーティやフットボールの試合の予定で一杯の週末が待っていたので、私は肩をすくめただけで、そのまま家に向かいました。

歩いていると、生徒の一団がカイルに向かって走っていくのが見えました。カイルは転ばされ、本は全部地面にばらまかれ、メガネは3メートルほど離れた草の上に落ちました。カイルが顔を上げると、その眼には深い悲しみが見て取れ、私は彼が気の毒になりました。

私は、はいつくばって眼鏡を探しているカイルに駆け寄り、その眼に涙が浮かんでいるのを目にしました。眼鏡を渡して、「あいつら、最低だな。ほんとにもっとましなことをすればいいのに。」カイルは私を見上げてにっこり笑い、「ありがとう」と言いました。それは真の感謝を表す、心からの笑顔でした。

私は教科書を拾うのを手伝い、どこに住んでいるのかと尋ねました。驚いたことに、カイルの家はうちのすぐ近くでした。なんで今まで近所で見かけなかったんだらう。私立校に通っていたから、というのが彼の答えでした。私立校に行っていた子と付き合うなんてことは、これまでありませんでした。

私たちは帰り道ずっと話し続けました。私はカイルの教科書を少し持ってやりました。カイルは実はクールな奴だと分かりました。ぼくの友達と一緒にちょっとフットボールやらないかと誘うと、いいよと答えたのでした。

週末を一緒に過ごした私は、カイルのことをもっと知るようになり、もっと好きになり、他の友達もカイルをいい奴だと思えるようになりました。

月曜の朝、カイルはまた大量の教科書の山を持っていました。私はカイルを呼び止めて、「毎日こんなに山ほどの教科書を運んで、相当筋肉がつくよな」と言いました。カイルは笑い、本の半分を私に持たせました。

それからの4年間で、カイルと私は親友になりました。最終学年になり、二人とも大学について考え始めました。カイルはジョージタウン大学、私はデューク大学に行くことに決めました。二人はいつでも友達であり、遠く離れても問題でないと私には分かっていました。カイルは医者を目指し、私はフットボールで奨学金を得てビジネスを学ぶことにしていました。

カイルは、私たちのクラスの卒業生総代でした。私はいつもカイルをガリ勉だと言ってからかっていた。カイルは卒業式のスピーチの準備をしなければならず、私はスピーチをしなくてもいいことをとても喜んでいました。

卒業式の日のカイルは、実に立派に見えました。ハイスクール時代に自分が何者であるのかに気づく、そういうタイプの男でした。がっちりして、眼鏡が似合うハンサムでした。カイルは私より多くの女の子と付き合い、女の子はみんな彼のことが大好きでした。ときどき妬ましく思えるほどでした。

カイルがスピーチのことで緊張しているのが分かったので、背中をたたいて、「おい、おまえなら絶対うまくやるよ、大丈夫だ！」と声を掛けました。カイルは私を見て、あの感謝に満ちた目で見て、微笑みました。「ありがとう」。スピーチの初めにカイルは咳払いし、こんな風に始めました。「卒業とは、大変な年月を乗り越えることを助けてくれた方々に感謝するときです。両親や先生やきょうだいや、もしかしたらコーチかもしれません。しかし、最も感謝したいのは友達です。私はここに立って、誰かの友達であるということは、その人に与えられる最高の贈り物だということを皆さんにお伝えしたいと思っています。」

「これから一つの物語をしたいと思います。」私はカイルを信じられない思いで見つめていました。彼が語ったのは私たち二人が出会った最初の日のことでした。カイルはその週末に自殺するつもりだったのです。お母さんが後で片付けなくていいように学校のロッカーをすっかり空にして、荷物を全部家に担いで帰るところでした。カイルは私をじっと見て、ちょっとほほえみました。「ありがたいことに、私は救われました。私の友達が、口にするのもはばかれるようなことをしないで済むように助けてくれたのです。」

このハンサムで人気のある少年が、最も弱かった時のことを語ったとき、息をのむ音が参列者の中に広がりました。カイルのお母さんとお父さんも私を見て、同じ感謝のほほえみをたたえていました。

その瞬間に初めて、1年生のあの日に、いじめられている子が教科書を拾うのを手伝いに行った、自分の行動に深い意味があったことに私は気づきました。

あなたの行動の力を過小評価しないでください。一つの小さな動作が、誰かの人生を変えることがあります。良い方にも悪い方にも。神は、私たちが互いの人生の中に置き、何らかの方法で互いに影響を与えさせているのです。相手の中にいる神を見つけ出しましょう。

注：この物語は、ジョン W. シュラッターによって書かれ、『こころのチキンスープ』として出版されたものに基づいています。

コミュニティへの実際的な適応

グラハム・クックは私たちに、「私たちの国に唯一欠けているものが神のグッドネスだとしたらどうしますか？」と問いかけました。そして、「私たちが出会う人全てに親切にすることで、グッドネスを流行させることができるとしたら、どうしますか？」と。このような炉端会議は、コミュニティに実際に適応できますし、アグロー・グループにも適応できます。

1. 数分間時間を取り、自分のコミュニティの潜在的な問題について語り合い、リストを作りましょう。
2. 作った問題リストを見て、神に創造的なアイデアを求め、問題を可能性に変えるにはどうしたらよいか、否定的な状況を、人々にいのちを解き放つ場所に変えるにはどうしたらよいかを教えてください。

3. ライトハウス（地区アグロー）やパッションズなどで用いる様々なスキルを検討し、可能性のリストに一人ひとりを当てはめ、可能性に従ってメンバーをいくつかのグループに分けましょう。可能性はあなたのライトハウスが姿を現すのを待っています。
4. 神があなたのコミュニティに送られた助け手として、どのように活動を始めたらいいかブレインストーミングし、あなたのコミュニティにおいて神のグッドネスを目に見えるものとしましょう。
5. さあ、可能性のリストのうち、少なくとも一つを始める日を決めましょう。

例

問題	可能性	始める日
ホームレスの人々	暖かい服、毛布、サンドイッチ	冬が来る前
公園で保護者なしで遊んでいる子ども	おやつ、水、宿題を手伝う	学期中
老人専用住宅	毎月曜日訪問、小さな誕生日プレゼント	来月

アグロー・グループへの実際的な適応

バージニア州リッチモンドでの日曜朝のメッセージで、グラハム・クックは、「パートナーに対する私たちの意図の方向は、主の、私たちに対する意図の方向とマッチしていなければなりません。」

だから私は、友達全員のファイルを保存しています。友達一人ひとりに与えられた預言的言葉を全て知っているからです。私は一人ひとりのアイデンティティの言葉を知っています。一人ひとりの預言の言葉に目を通します。彼らが私の友達だからです。ここに書いてある言葉の一部が実現しつつあると感じると、私は電話をかけて、「コーヒーを飲みに行きましょう。このことを話したいから。これが、『今の』言葉になってきていると思うから。」と言います。そのことが語られたときには、それは未来の言葉でしたが、未来の言葉は全て、ある時点で今の言葉になるのです。

あるとき、ファイルを見て、「これ、今の言葉になっていると思うけど、どう思う？」と聞きます。「あなたの言う通りかもしれない。」「それなら、これについてどうするつもり？何を変えないといけない？何を調整する必要がある？あなたの考え方の何を変えないといけない？全く違う視点で、レンズをどうしたらいい？祈りや宣言や告白や声明の時、あなたの口からどんな言葉を出したらいい？この言葉を持っている今、どんな風に歩んだらいい？今、この言葉は解き放ってくれと叫んでいるよ。」これが、良い友達が互いにすべきことでしょう。

私たちは、誰と共に労しているのか知らなければなりません。アグローの誰一人として、「カイル」のようであってはなりません。どの人も大切なのです。どの人も果たすべき役割があるのです。もしあなたが、天であるのと同じ方法で互いを知っているなら、神がグループに与えられた任務を実行しようとしている人々が何者なのかが分かるようになります。

1. もしあなたのグループがアイデンティティを表す声明文をまだ書いていないなら、みんなで取り組みましょう。一人ひとりがアイデンティティの声明を用意する時間を取ります。アグローのウェブサイトのリソースのページ、もしくは『ゲーム・チェンジャー』マニュアルの巻末に、「個人的なアイデンティティの声明を作成する方法」というハンドアウトがあります。
2. あなたのグループが『ゲーム・チェンジャー』の学びを終えていないなら、今、みんなでやりきることを決意しましょう。時間は限られており、アグローにおいてメンバーは、終わりの時に神によって送られた助け手として備えていなければならないからです。一人ひとりが、天においてどのような者として知られているかを知っていなければなりません。一人ひとりが古い人の影響から抜け出し、キリストにある新しい命によって完全に生きることを始めなければなりません。古いものは過ぎ去らなければならないので、全てのものが新しくなり、私たちは、天の正しい姿を地に表していかなければならないのです。
3. アイデンティティの声明が書けたら、お互いにシェアして共通するものを探し、メンバーをグループ分けします。ホスピタリティの賜物を持つのは誰か？ 教えに強い賜物を持つのは誰か？ お菓子を焼くのが好きなのは誰か？ 伝道に情熱を持つのは誰か？ などで
4. あなたのグループの一人ひとりが、コミュニティに対して神が解き放たれた任務について、成し遂げるべき役割を持っています。あなたのグループに参加している人々があなたのチームを構成しており、その人々のことを知る必要があります。
5. これで、最初の適応に進むことができ、神があなた方の手に渡された任務を通して、コミュニティにアウトリーチすることができます。身をもって神を表わす者となってください！